



～インタビュー風景～



▲老人ホーム慰問時のお礼にいただきましたと原巴瑠菜さん

▶部長の渡辺那津美さんは「登山部との掛け持ちですが、部員に協力してもらっています」と語ります。



JRC部 (Junior Red Cross club)



て集団生活の活動体験を通じて協調性、助け合いの心の大切さを学びました。校内での活動としては、月に2回、華道部の講師による指導を受けながら活け花の技術を身に付け、花壇の整備や入学・卒業式での生花の飾りつけ、アルミキャップの収集、市内では、多久まつりでの募金活動や通学合宿のサポートにも取り組んでいます。

JRC部(顧問 洲上美奈子先生)は部員9人(3年3人、2年5人、1年1人)で、青少年赤十字佐賀支部での防災学習や、人工呼吸、AED講習会など救急法について学び、市内の清掃活動や募金活動など幅広くボランティア活動に取り組んでいます。また、救急法の技術向上のために、講習会への参加や赤十字救急法指導員の資格取得に励んでいます。



そうじの会200回記念大会での事例発表

10月18日に中央公民館で行われた多久市そうじの会(会長：山崎昌治)200回記念大会では、JRC部の日頃の活動内容について、毛利彩乃さんと成富友香さんが出席して発表しました。

毛利さんは「ボランティア活動を通じて自己成長にもつながっています」とJRC部での経験について語りました。

工業技術部 (Industrial Technology Club)



▶部員みんなで集合写真！取材当日は3年生の女子部員もかけていただきました。

工業技術部は、部員15人(3年3人、2年10人、1年2人)で、部員のほとんどが、マルチメディア系列か工業技術系列に属しています。顧問の吉武吉隆先生と職持佳明先生の熱心な指導のもと、毎週水曜日と金曜日の週2回活動を行っています。

活動内容は、自動車づくりと機械制御の2本柱。現在、自動車づくりでは、2人乗りのエコカー(50cc)を製作しています。2年前からスタートしたこのプロジェクトは、アルミを使い軽量化を図った車体の製作には部員全員がパーツ毎に分かれて機械加工や溶接などの技能と経験を積み重ねながら一丸で取り組んでいます。

機械制御では、C言語を用いた“アルドゥイーノ”というシステムによるプログラミングを学んでいます。

～インタビュー風景～

商業コースから入部した部長の井上さんと副部長の入江さん。普段経験できない「溶接などに魅力を感じて入部しました」と語ります。また、井上さんは「明るく楽しい雰囲気づくりを心掛けています」と話し、これまでの活動を振り返りました。



▲(左から)部長の井上星佳さんと副部長の入江希さん

▶永松達也さん(2年生)は「プログラミングは長くかかる分、実際に動いた時に達成感があります」と部の魅力を語ります。



▶エコカーの骨組み部分を溶接する部員



▲機械制御の仕組みを指導する職持先生